

鯨群の詩^{うた}

LYRICS OF WHALE

by MAKI OHKOJIMA



CULTURAL THREADS

by MAYUR VAYEDA

文化の糸

鯨群の詩 / うた

LYRICS OF WHALES

鯨たちが歌うー

僕たちの身体は何によって生かされているのだろうか？

身体の中に生きている何十兆個もの細胞

何千キロ、何万キロも地上を飛びながら生きる蝶や鳥

人類も長い距離を旅しながら、生き延びてきた

地球は今も強く鼓動している

生物が受け継いでいるのは数万年、数億年前からの言葉



大小島真木

Maki Ohkojima

2011年女子美術大学大学院修士課程修了。主な賞にトーキョーワンダーウォール賞(09年)、VOCA奨励賞(14年)など。近年の主な展示に、個展「鳥よ、僕の骨で大地の歌を鳴らして」(第一生命ギャラリー、東京、15年)、「絵とことばのまじわりが物語のはじまり」(太田市美術館・図書館、群馬、17年)、「万物の眠り、大地の血管」(府中市美術館公開制作、東京、17年)、「アグロス・アートプロジェクト明日の収穫」(青森県立美術館、青森、17年より継続中)など。その他、アニエス・ベー主催による海洋調査船タラ号のプロジェクトへの参加や、多摩六都科学館のプラネタリウム全天88星座の原画制作、南沢水川神社への天井画奉納など多方面で活動。

www.ohkojima.com



第11回粟島芸術家村滞在作家展

大小島真木 / マユール・ワイエダ

The 11th Awashima Artists Village Residency Exhibition

Maki Ohkojima / Mayur Vayeda

2018年8/19(日)～26(日)

開館時間 10:00～17:00

展示場所: 粟島 粟島芸術村(香川県三豊市詫間町粟島)

(観覧無料)

JR「詫間駅」より、三豊市コミュニティバス乗車後、「須田(スタ)」バス停で下車。
(乗車時間約20分)→ 須田バス停より歩いてすぐの「須田港」より、粟島汽船の定期船
乗船、約15分で粟島へ到着致します。→
粟島の港「須田港」から粟島芸術村へは徒歩3分です。

主催: 三豊市

協力: 粟島ほ〜い&が〜るの会

お問い合わせ: 三豊市産業政策課 Tel 0875-73-3013

email: sangyou@city.mitoyo.lg.jp

粟島アーティスト・イン・レジデンス

地域の人々との交流を通じて文化芸術による地域の活性化を目的としたもので、

2014年からは三豊市単独で行っている芸術プログラムです。

ディレクター日比野克彦氏が校長を務める「日々の笑学校(旧粟島中学校)」を拠点に、今年度は5月から大小島とマユールが粟島に住み、島から見える視点を軸に創作活動を行ってきました。

瀬戸内国際芸術祭で結成された粟島ほ〜い&が〜るをはじめとする島民らとともに過ごし作り上げた4ヶ月の成果を発表する展覧会を開催いたします。



文化の糸

CULTURAL THREADS

どんな境界線も無く生きれる地球を感じるでしょう。

すべての私たちは、文化と信仰の多様性を持ってこの惑星で巣を作ってきました。

一本の糸から美しく始まった文化は今、私たち自身をさまざまなコミュニティに分けました。

私たちは、すべての人の根源である、その糸の起源を見つけるでしょう。



Warli tribal traditional style



shooting project

マユール・ワイエダ

Mayur Vayeda

1992年生まれ。ムンバイから北部に位置するガンジャード村出身。ムンバイ大学経済学 MMS 修士号修了。生まれ故郷であるワルリー族の文化を守るためにワルリー画家となり、ワルリー族の鮮やかな物語を描いている。主な展示に2017年「L'ART DES PEINTRES PAYSANS DE LA TRIBU WARLI」シネマ・パンテオンコレクションをフランスパリ、2017年「Cosmos」Ganga the River of Eternity」インド国立博物館ニューデリー、2016年に WAF プロジェクトにより福島、2017年に新潟のミティラー美術館にて日本での滞在制作を行った。

www.vayeda.in